

楽しく学ぶ社会科の基礎基本 ～海外日本人学校を経験して～

市川市立福栄中学校 松井 聡

1. 主題設定までの取り組み

生徒が進んで楽しく社会科を学ぶためにはどうしたらよいのか。これは、社会科教師の永遠の課題だろう。今回は、海外日本人学校の経験を通して市川市の公立中学校（大洲中・福栄中）で取り組んだ「楽しく社会科の基礎基本を学ぶ方法」についてまとめてみることにする。

平成10年度から3年間、台湾の高雄日本人学校（海外日本人学校）に派遣された。そこで出会った生徒たちは、様々な境遇、環境の中で悩むことはあったものの、とても明るく素直に学んでいた。学校規模が小さかったために、私が担当した社会科は4つの学年（小6～中3）にまたがり、毎時間、対象学年・分野が変わった。とても忙しい毎日を送ることとなった。

赴任当時、担任する中1で何げなく始めた「社会科体操」は、思った以上の反響を呼んだ。

「社会科体操」は、地理的分野の重要用語を歌に合わせて体を動かしながら理解していく学習方法。1～5番は、既に市川市の中学校で実践済みであった。高雄でも、生徒が喜んで「社会科体操」を覚えた。暫くして、それを中3の受験対策で紹介すると、意外にも各兄弟に広がり、小学5年生が「先生、あたしも社会科体操できるんだよ・・・」と私に自慢するようになった。

「兄弟で教え合うなんてすごいことだ！」その時、素直にそう感じた。「社会科体操」は、その1年で1～20番までが完成し、年度末には、中1の生徒とともに「社会科体操解説本」「社会科体操解説ビデオ～これでバツ地理」（ミニDV・CD）を作成した。（9頁：資料1参照）

翌年、「いろはde歴史」という楽しい学習方法を開発した。きっかけは、やはり生徒だった。歴史の導入授業である第一時。（ちなみに、中2はザブトン型。下の学年よりパイ型に移行。）

「歴史のはじめ。いろはの「い」だね。一万年前、日本列島現れる。」と歌で授業内容を振り返った。「このまま、い・ろ・は・・・と歌を詠み続けられないだろうか・・・。」とにかく次を考え授業に臨み、「ろ」「は」の歌を紹介した。みんなが大合唱して歌を詠み、「社会科体操」の時のような明るい雰囲気になった。「先生、次の歌は・・・」「なんかりズムが変でこの歌面白い・・・」生徒の真っ直ぐな姿勢と笑顔に助けられ、作成は順調に進み、12月末には「い～ん」の48の歌が完成。年末には学習用の「いろはde歴史カルタ」を作成した。（10頁：資料2参照）作成まではかなりの苦労があったが、授業でカルタを取り入れたことで、更に広がりを見せた。カルタ大会は、小6～中3で実施することができた。また、中2の歴史の成績は非常によく、知識の定着についても素晴らしい成果があった。

「社会科体操」「いろはde歴史」に取り組んで感じたメリット。

- ◇日本語理解が十分でない外国籍の父母を持つ児童生徒にも、楽しく易しく学べる。
- ◇楽しいと感じた生徒は兄弟や友だちと教え合う。そして、学び合う雰囲気ができあがる。
- ◇体操や歌で覚えた基礎知識は、忘れにくく定着しやすい。（卒業後も覚えている！）
- ◇地理では世界・地域全体・日本などの位置関係がイメージしやすくなる。
- ◇歴史では時代の流れ、ことがらの順番など、大まかな枠の理解ができるようになる。

2. 仮設・目標

上記の実践では、「生徒が楽しいと感じられるような教材を開発し利用したことで、社会科の基礎基本を学ぶ意欲が身についた。」と感じた。また、社会科への理解度も高いものだった。そこで、この経験を日本においても活かしてみたいと考え、次のように仮設を立てた。

【仮設】「社会科体操」「いろはde歴史」を利用すれば、社会科の学習を楽しいと感じていくのではないかな。その結果、社会科の基礎基本を学ぶ意欲が身についていくのではないかな。

ただし、多少の不安もあった。台湾と日本の生徒の質の違い。学習環境の違い。文化風習の違い。児童・生徒と教師の関係性の違い。日本に戻ったら、「社会科体操」や「いろはde歴史」は受け入れられるのだろうか。「楽しい！」という笑顔で取り組んでくれるのだろうか。帰国間際に私自身がまとめた「社会科三部作」という本のあとがきには、こう記してある。

思えば、海外への派遣ということも「夢」の一つだった。その「夢」が「現実」のものととなり、ここで3年間を過ごしてきた。このことは、まるで、「井の中の蛙」が「大海」にでてきたようなものだった。(中略)「社会科体操」「いろはde歴史」などという学習方法は世界中のどこにもない。それなのに、「当然」のような顔をして「体操」や「かるた」に取り組んできた。この超普通じゃない学習方法についてきてくれた生徒諸君に感謝申し上げたい。(中略)私は再び井戸の中に戻る。だが、大海原での経験を忘れはしない。完成した「社会科三部作」を携えての蛙の凱旋である。ここを巣立つみんなは、(それぞれが日本の故郷に帰るわけだが)ここでの経験を自信にして、堂々と凱旋して欲しい。私もそうするつもりである。でも、どうしよう。新しい学校の生徒たちは、高雄の生徒のように一緒に踊ってくれるかなあ・・・。

不安のまま、挑戦しないのでは先には進めない。「きっと、日本の子どもたちも学ぶことに對して、わかることに對して素直なはずだ。」という気持ちをもって、そのことを確かめていくためにも実践していくことを決意した。そして、次のような目標を立てた。

**【目標】「社会科体操」「いろはde歴史」を活用して社会科学習支援に取り組む。
楽しい活動をめざし、生徒に社会科の基礎基本を学ぶ意欲を身につけさせる。**

3. 実践内容

平成13年度、原籍校である大洲中学校に戻り、選択社会で「社会科体操」「いろはde歴史」を取り上げた。(実践1)昨年度、福栄中に異動したが社会科は担当せず。本年度社会科に復帰。3年生の選択授業では、前後期に分けて、社会科基礎学習というテーマの講座を開き、「社会科体操」「いろはde歴史」を実践している。(実践2)また、2年生3クラス(歴史的分野)の学習においても「いろはde歴史」を活用している。中2では、既に約半分の歌を学習し、カルタ大会も各クラスで3回ずつ実施している。(実践3) 以下、3つの実践を紹介する。

(1) 実践1：大洲中学校 3年選択「社会科基礎学習」(平成13年度)

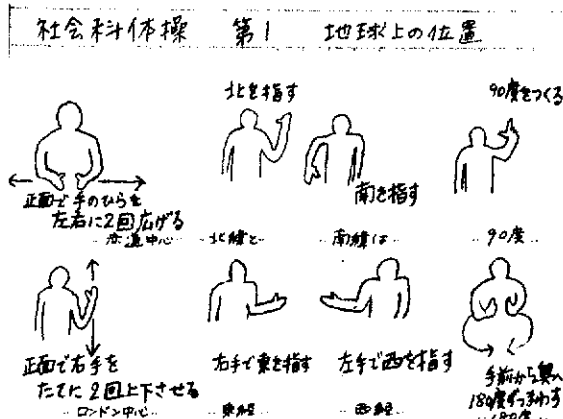
3年の「選択社会科基礎学習」は、後期のみの実施。受験を間近に控えた3年生が対象であった。そこで、社会科(地理・歴史)の重要用語を学ぶ3年間の総復習を試みた。短い期間に効果的に学ぶために、「社会科体操」「いろはde歴史」を中心に授業を展開した。

地理的分野の活動

活動の最初は、【第1：地球上の位置】「社会科体操」は、自分の目の前に大きな地球儀をイメージするところから始まる。この体操で、赤道・両極の位置、地球の大きさ、緯度・経度、方位を身体全体で体感することが重要である。

赤道中心 北緯と南緯は90度
ロンドン中心 東経・西経 180度

大きな声とオーバーアクションにより、生徒はビックリしていた。しかし、自分でやってみると意外に簡単にできるため、何度も繰り返して行っていた。初めは易しく、そして親しみやすく。楽しいと感じられることを大切にして進めていった。



【第1：地球上の位置】

その後、【第3：6大陸と3大洋】にチャレンジ。ここでは、黒板に大きな世界地図を描き、生徒の理解度をはかった。その後、ポイントの説明。体操では、各大陸・各大洋の位置と形をイメージさせつつ取り組ませた。「社会科体操」は、みんなができるまで何度もやってみることが大事である。友達同士で練習した後、全員で声をそろえて実施した。みんなで行っている姿は、中3とは思えないような無邪気なもの。高雄での学習風景が脳裏をよぎった。

その後、世界の山と川、アメリカ、中国、日本の様子、地形図対策と順番に挑戦していった。

歴史的分野の活動

授業後半は、「いろはde歴史」を取り上げた。カルタを見せながら、「いろはde歴史」の特長

- ・歴史の重要語句が沢山入っていること
- ・覚えやすいようにリズムを工夫してあること
- ・歌は、「い」～古い順に歌が詠まれている、覚えると歴史の流れをつかめること

等を伝えた。一番覚えやすい「い」を大きな声で詠んでみた。幸いに予想以上に受けがよく、生徒たちも大きな声で一斉に詠むことができた。



【「いろはde歴史」かるた】

授業後、女子数人が声をかけてくれた。

カードは上下ペア。表は歌、裏は連想する絵・言葉

「先生、体操もいろはもけっこう楽しかった。」

何気ない一言だったのだろうが、私にとってはとっても重く、心があたたまると言える。

第2時には、「いろは de 歴史カルタ」を2人一組に渡し、ペア合わせに挑戦した。ゲームをしている姿は、みな真剣。「これじゃな〜い。」とか、「あ、あった。これこれ！」とかあちこちで声が弾んだ。カルタを実施した後、「先生、このカルタ買えないんですか？」という声が上がった。その後、毎時間3〜5つずつ取り上げた。選択の最後の時間は、柔道場（畳）を会場にしての大カルタ大会を実施した。以下感想である。（一部のみ紹介）

3年選択社会科基礎学習を終えて（集計結果） 2002年1月（30名中27名）

- ・とても楽しかったっす。（3-1男子） ・面白かった。難しかった。（3-1女子）
- ・短かったけど、いろいろと覚えました。ありがとうございました。（3-2男子）
- ・自分は社会科が好きではなかったけど色々なことをしてとても楽しかった。（3-2男子）
- ・とても楽しく社会科を勉強できた。（3-2男子） ・思ったより楽しかった。（3-2女子）
- ・覚えるのは苦しかったけど楽しかったです。上と下を合わせるのには難しい。（3-2女子）
- ・超楽しかったです。歴史も覚えられたし・・・。（3-2女子）
- ・社会科がちょっとはわかるようになってよかったです。（3-3男子）
- ・社会科体操は時間がなくてあまり覚えることができなかった。（3-3男子）
- ・工夫された授業でとても楽しかった。もう少し時間をとって欲しかった。（3-3女子）
- ・カルタ大会、負けた気がしなかった。体操が面白かった。（3-3女子）
- ・難しかったけど超楽しかった。（3-3女子） ・全勝◎とっても楽しかった。（3-3女子）
- ・最後に大会ができて良かった。（3-3女子） ・とても楽しかった。（3-3女子）

上記の感想をまとめてみると・・・◎楽しかったという意見 → 19名（70%）

◎覚えやすかったという意見 → 6名（22%）

大洲中での実践は、大きな収穫があった。受験を前にした中3の生徒が興味をもって取り組み、目標としていた「学ぶ意欲を身につける」ことにつながるものと感じた。

（2）実践2：福栄中学校 3年選択「社会科基礎学習」（平成15年度）

福栄中学校に異動して2年目。社会科に復帰。中3において「選択：社会科基礎学習」の講座を持つことになった。この選択社会科基礎学習は、前期は女子の希望が多かった。7クラスから集まってくるメンバーで授業をしたことで、多少落ち着きがなくなった場面もあった。

大まかな流れは大洲中の時と同じ。1時間の中で「地理」と「歴史」の両方を扱った。新しくした点のみ以下に列挙する。

- ・実際のカルタを使っの遊びの回数を増やしたこと。
- ・毎回プリントを作成し、前回の復習に力を入れたこと。
- ・途中に「ドリル学習プリント」を実施。知識として定着しているかを試してみたこと。
- ・講座の終盤にチェックテストを実施したこと。

実際に活用したチェックプリントは次頁のようなものである。（要約版）

選択 社会科基礎学習 チャレンジテスト 3 年 組 氏名

① 社会科体操 「これでバツ地理」 体操ができたものには○がつきます！

種 類 (10種類)	9/18	10/2	10/16
1. 赤道中心			
3. ヨーロッパとアジアで			
4. 環太平洋造山帯			
5. 熱帯			
8. アメリカ独立13州			
10. でっかい中国12億			
11. 日本列島			
12. ロンドンとの時差は			
14. 地形図対策5原則			
20. 世界の窓から眺めてみれば			

② 歴史カルタ 「いろはde歴史」 いろは歌、覚えたものには○がつきます！

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ
うゑのおくやまけふこえてあさきゆめみしゑひもせすん

一番盛り上がったのは、やはりカルタ大会。全員が楽しみながら取り組むことができた。また、途中のドリル学習では、知識の応用について考えさせる機会をもつことができた。チェックテストは、ほとんどの生徒が参加。達成率8割以上を合格としたところ、約9割の生徒が合格した。(2時間扱い)

3年選択社会科基礎学習を終えて(集計結果) 2003年10月(21名中17名)

[5] すごく [4] まあまあ [3] ふつう [2] あまり [1] 全く

① 社会科体操をやってみて、社会科(地理)の基礎用語を学べましたか。

[5] 5 (53%) [4] 7 (41%) [3] 1 (6%) [2] 0 (0%) [1] 0 (0%)

② 社会科体操をやってみて、社会科(地理)が好きになりましたか。

[5] 4 (24%) [4] 7 (41%) [3] 4 (24%) [2] 0 (0%) [1] 0 (0%)

③ いろはde歴史をやってみて、社会科(歴史)の基礎用語を学べましたか。

[5] 3 (47%) [4] 6 (35%) [3] 3 (18%) [2] 0 (0%) [1] 0 (0%)

④ いろはde歴史をやってみて、社会科(歴史)が好きになりましたか。

[5] 4 (24%) [4] 9 (52%) [3] 4 (24%) [2] 0 (0%) [1] 0 (0%)

⑤ 選択社会科学習に参加して、あなたは頑張りましたか。

[5] 12 (70%) [4] 4 (24%) [3] 1 (6%) [2] 0 (0%) [1] 0 (0%)

⑥ 感想をお願いします。(一部のみ紹介)

- ・ すごく楽しく学べた。カルタは優勝できてよかった。社会が(ちょっぴり)好きになってきた。(3-6 女子)
- ・ 社会の歴史とか嫌いだったけど、わかるようになって楽しかった。ありがとうございました。(3-5 女子)
- ・ 勉強になりました。(3-6 男子)
- ・ あまり覚えられない歴史がけっこう覚えられてよかった。みんなでいろいろできて楽しかった。(3-4 女子)
- ・ 知らない間に、社会科体操のうたを口ずさんでいる。 【3年「いろはde歴史」かるた大会】
覚えやすい上に、楽しんでできるから、楽しかった。(3-6 女子)
- ・ 楽しかった。もっと時間をかけて覚えたい。今度またやりたい。(3-3 女子)
- ・ 思ったよりすんなり覚えられ、体も使っているので忘れにくいので、テストでまざることがなかったから良かった。楽しかった。(3-4 女子)
- ・ すごく楽しかったし、わからないのがわかって良かったです。(3-3 女子)
- ・ 毎回とても楽しかったです。地理が苦手だったけど普通になりました。(3-2 女子)
- ・ 毎回楽しく頑張れた。最後の方にやったテスト、頑張った。(3-1 女子)
- ・ 楽しかった。社会科体操は、覚えられてよかった。カルタも楽しかった。(3-3 女子)
- ・ カルタとかマジ楽しかった。またやりたいです。(3-5 女子)
- ・ 歌とか体操でリズムに合わせて覚えたから覚えやすかった。楽しかった。(3-3 女子)



上記の感想をまとめてみると・・・◎楽しかったという意見 → 15名(89%)

※ 複数回答あり ◎覚えやすかったという意見 → 5名(26%)

◎好きになったという意見 → 4名(21%)

(3) 実践3：福栄中学校 2年社会科(3クラス)歴史的分野(平成15年度)

2年生3クラス(全7クラス)を担当。歴史的分野を支援することになった。「いろは de 歴史」は、授業のまとめと授業の導入のいずれかで提示。現在までに「い〜う」の24の歌(ちょうど半分)を学習した。5つ覚えたところで小テストを実施。(以下の資料参照)
内容は極めて簡単。取り組み易さを重視した。小テストは、4回実施した。(10/20 現在)

「いろはde歴史」ミニテスト 2年__組__

次の()の中に適語を入れなさい。1問1点、10点満点

- | | | | | | |
|---|-----|----------|----------|--|---------|
| い | () | 日本列島 | () | | |
| ろ | () | 土器づくり | () | | 平和な社会 |
| は | () | 四大文明 | () | | インダス 黄河 |
| に | () | 議論する | 紀元前後の() | | |
| ほ | () | 稲作伝播の() | | | |

どのテストも満点の生徒が約半数、ほとんどが8点以上であった。これまで3回のカルタ大会を実施。第1回目は4月。クラスを6つの生活班に分けた。班の中での対抗戦（カルタとり）、班ごとの対抗戦（ペアあわせ）で大いに盛り上がった。2回目は6月。1回目よりも進歩した。このころ、同学年の社会科担当より依頼があった。「いろはde歴史のカルタを授業で使いたい。」これまで私以外に実施した人はいない。他の先生が実施して、大丈夫か……。半信半疑でお貸しした。実施後の感想では、「生徒がとても喜んでたよ。これ、面白いね。また貸して。」という言葉が返ってきた。広がりを感じた。3回目は10月。この時点で約半数を学習していたので、新しい遊び方を試した。クラスを9つのグループに分け、まず班内でのカルタとり。その後、カードの上下すべてを裏にしてのペア合わせに挑戦。初めて裏を使った遊び方ができたことが大きな成果だった。うら（歴史上の人物の絵と関連用語を組み合わせる作業）では、班内の男女がよく協力した。普段では見られない笑顔がたくさん見られた。最後は、恒例のペア合わせ。どの班も「いろはにほへと……」と素早くペアをつくれるようになっていた。ゲームをすることで男女がよくなっていく様子が見られた以下はアンケートの結果である。

2年社会科「いろはde歴史」について（集計結果）2003年10月（109名中104名）

[5] すごく [4] まあまあ [3] ふつう [2] あまり [1] 全く

① いろはde歴史をやってみて、社会科（歴史）の基礎用語を学べましたか。

[5] 28 (27%) [4] 63 (61%) [3] 12 (11%) [2] 1 (1%) [1] 0 (0%)

② いろはde歴史をやってみて、社会科（歴史）が好きになりましたか。

[5] 18 (17%) [4] 59 (57%) [3] 22 (21%) [2] 4 (4%) [1] 1 (1%)

③ 感想をお願いします。（一部のみ紹介）

- ・小6の時より詳しく学べてよかった。おもしろかった。
- ・こんなに面白い覚え方があって、すごく楽しかった。
- ・カルタで歴史の重要用語が覚えられるなんていいアイデアを考えて、すごいなと思いました。
- ・テスト中にいろは歌を思い出したら解けた。
- ・ゲームとかで勉強すると覚えやすいと思う。楽しいし、簡単に簡単に勉強できるのでいいと思います。
- ・去年の社会科より楽しくわかりやすかった。
- ・全部覚えられれば、社会もわかりやすくなると思う。
- ・小学校の社会の授業は、先生の難しい話を聞いているだけでつまらなかったけど、中学校の社会で「いろはde歴史」をやってみて前より社会の授業が楽しくなった。
- ・いろはde歴史をやってみて、いつもの授業がより楽しくなったと思います。遊びながら学ぶということは、私たちにとって楽しい中で学べるというメリットがあるので、これからも続けていって欲しいと思います。Get's!
- ・社会は大好き！面白い！いろはde歴史もっと覚えたい。カルタは毎回1位を狙う。



【2年「いろはde歴史」かるた大会】

- ・むかしから歴史は好きだけど、いろは de 歴史のおかげでもっと好きになりました。
- ・歴史の事について、今までわかりにくいのが、「いろは de 歴史」をやってから、覚えやすいし、おもしろいから授業も楽しくなった。「いろは de 歴史」はすごいと思います。
- ・覚えるのが面倒くさいものを短くまとめてあって覚えやすい。
- ・先生がつくったなんてすごいと思った。いろはでやるから覚えやすくていいと思う。
- ・社会は得意ではないのですが、いろは de 歴史を覚えて基礎は学べたと思います。
- ・歴史に関する暗記しなければならない語句を簡単にリズム良く覚えられて良かった。
- ・歴史はきらいだし、苦手だけど、「いろは de 歴史」をすることによって少しわかった。
- ・暗記力が悪いけど、いろはの覚え方は覚えやすく、ちょっとずつ覚えてきてると思います。
- ・いろは de 歴史を覚えると、重要な言葉がどんどんでてきてテストに役だった。
- ・いろは de 歴史をやったら流れがよくわかった。歴史の勉強が楽しくなった。
- ・歴史は大大大キライだったけど、今では好きなほうになりました。今はまだ苦手だけど、頑張って勉強して克服しようと思います。これからもお願いします。

上記の感想をまとめてみると・・・◎楽しかったという意見 → 30名 (29%)

◎覚えやすかったという意見 → 29名 (28%)

◎テストに役だったという意見 → 19名 (18%)

◎好きになったという意見 → 15名 (14%)

●面白くなかったという意見 → 1名 (1%)

4. 考察・まとめ

3つの実践を振り返ると、目標の「社会科の基礎基本を学ぶ意欲を身につける」には、かなり近づけた。特に2年生の実践において、楽しかった、好きになった等「意欲」を感じさせる感想は、全体の71%に上った。この事実は、前出の仮説を証明する一つとして考えられる。また、市川市での実践は、以前の高雄でのものと比べて大きく開きはない。このことは、市川市の生徒も楽しく学びたいという意欲を持ち合わせている・・・ということにつながる。こちらの工夫次第で、やる気も起きるのだ。改めて教師の姿勢の大切さを痛感することになった。これからも更なる実践を重ね、1人でも多くの生徒が「社会科って面白いなあ・・・。」と感ずることができるように努力していきたい。「社会科体操」「いろは de 歴史」を活用しながら、「それだけ」にならないような実践、「そこから」広がるような実践にしていきたい。そして、基礎基本の習得を土台として、「考える」「広がりのある」授業づくりを目指していきたい。

余談となるが、「社会科体操」は、社会科教室 2000 (23) (日文出版社) で「海外の社会科授業」のコーナーで取り上げていただいた。「いろは de 歴史」は、前年度末に文部科学省から委託された事業の一環として、海外の補習校プロジェクト「社会科(歴史) 40時間」の指導案の中に、参考資料として挿入した。又、海外派遣を目前に控えた先生方の研修会(つくば)で講師を担当した際に、この「いろは de 歴史」の取り組みを紹介したところ、かなりの反響があり、合計でカルタ 100 セットをお譲りしている。それぞれが広がりをみせはじめている。

5. 資料、文献

【資料1】社会科体操 第11 (「社会科三部作」より引用)

社会科体操

第11

日本の様子



右手を高く上げる
(北海道)

にっ



右手を高くから
左手へまがらす
(本州)

ぽん



右手をまぎ
のめい
(四国)

れっ



左手を左下へ
(九州)

とっ

この4つの
動作を
順番に
右手の
大指を
目印として
まがして
まがして
まがして
まがして



右手の親指を
たて

東京中



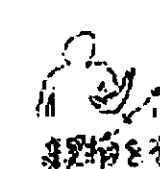
右手を右側の
こへ

北と東



親指を車軸に
まがして
左下へ

南西



親指をそのまが
して
左下へ
まがして
まがして

さん



そのまがのまが
細い人が
左下へ

ぜん



こまがのまが
左下へ

まろ



山のまがを
まが

山は国土地の



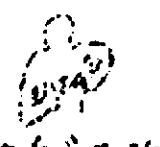
右手を下のまがに
左手を上の方に
まが

4分の3



左手を上に
まが

黒潮



右手を下に
まが

黒潮



左手をまが
まが

ながれてる



右手をまが
まが



「いろは歌」

色は匂へど 散りぬるを

我が世 靡ぞ 常ならむ

有為の奥山 今日越えて

浅き夢見じ 酔ひもせず

「いろは歌」は源朝歌（ねはんきょう）の偽（いつ）げ「路行朝常（しよぎょうむじょう）、最生成達（ぜしやうめつぽう）、生滅成已（しよめつめつじ）、寂滅為衆（じやくめつしやうく）」を訳したものといわれ、七五調四句の今様（いまざま）の歌である。その意味は上の通り、世、千習いの始めにこの「いろは歌」を字本としたことから、「いろは」には「朝事（あさ）の始め」「初歩（はつぽ）」の意味がある。……引用 旺文社 古語辞典（改訂新版）

日本のもっとも代表的な「いろは歌」は、これである。歴史の物語を詠んでいきました。いろはには、……は、年代順になつて、いろはの順で並べられています。そして、その世の時代の様子も思い浮かぶことができます。

いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ
うゑのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせず

- いろは歌は、日本列島に現れる
- ろくろなど土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - は 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - に 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - は 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - へ 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - と 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - ち 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - る 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - わ 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - か 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - よ 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を
 - れ 土器（かわ）は土器（かわ） 縄文文化の和を社を